

浦添市てだこホール探検ツアー

参加者募集

普段見ることのできない浦添市てだこホールの舞台裏を探検しませんか？
舞台に必要な照明音響装置の操作方法を学び、舞台装置の演出効果を体験してみよう！

- 日時** 8月18日(日) 午前10時～正午
会場 浦添市てだこホール 大ホール
申込期間 7月8日(月)～8月12日(月)
 午前8時30分から午後5時15分(土日・祝日は除く)
申込方法 申込書を文化課まで持参するか、郵送・FAXにて受付します。
 ※申込用紙は、市ホームページにてダウンロードできます。
募集人数 定員200人(小学3年生以上の市在住・在学の方)
 ※定員に達し次第締め切ります。
 ※児童が参加する場合は、保護者同伴となります。
参加料 無料
プログラム ①座学「舞台ができるまで！」
 ②照明・音響による効果
 ③実践 舞台道具、音響機器、照明機器の操作体験
 ④平和劇「君とつなげる虹色」の1シーン再現
主催 浦添市文化芸術振興事業実行委員会
免責事項 全国市長会市民総合賠償保険の範囲及び応急処置以外の責任は負えません。
問い合わせ 〒901-2501 浦添市安波茶1丁目1番1号
 文化課文化振興係 ☎876-1234(内線6211) FAX878-1487



市民の花・花木・木

浦添市は、「豊かな自然環境をつくり、市民が心身ともに健康で誇りをもち、郷土愛の精神を育てよう」と市民の花・花木・木を昭和49年12月に制定しました。これまで市の象徴として、栽培が盛んに行われ、市民の皆さんに親しまれてきました。これからも身近に感じられるよう植栽に努めていきます。

市民の花



オオバナアリアケカズラ
 Allamanda, Golden Trumpet
 キョウチクトウ科に属するツル性の植物。鮮やかな黄色の花を咲かせ、別名ゴールデンカップといわれます。

☆市内植栽場所☆
 運動公園野球場周辺など
 市内全域

市民の花木



オオゴチョウ
 Barbados flower - frence
 サンダンカやデイゴと共に琉球三大名花の一つ。6月～11月に赤と黄色のストライプの花を咲かせます。

☆市内植栽場所☆
 運動公園内など

市民の木



ホルトノキ
 Elaeocarpus Tree
 沖縄本島では古来から「カリーの木(おめでたい木)」として知られています。

☆市内植栽場所☆
 市役所前通りなど
 (県道38号線沿い)

市内でオオゴチョウの咲いている場所の情報提供を、下記アドレスまでお願いします。

問い合わせ 国際交流課 ☎876-1234(内線2614) E-mail:kokusai@city.urasoe.lg.jp

浦添の文化財

県指定史跡 浦添貝塚

伊祖トンネルの上にある、約4,000年前の貝塚時代前期の遺跡です。

丘陵の上部に住居跡があったと考えられ、その崖下は貝塚になっています。九州から運び込まれた市来式土器が初めて発見され、沖縄と九州の交流があったことがわかりました。



浦添ようどれ

浦添グスクの北側崖下にある王陵で向かって右が英祖王陵、左が尚寧王陵です。高い石垣で囲まれた荘厳な雰囲気のある王陵でしたが、さる沖縄戦で破壊されました。平成17年3月に復元され、当時の姿がよみがえりました。



市指定史跡 中間の拝所群「クバサーヌ御嶽」

御嶽にまつられているのは村の遠い祖先で村人たちを守ってくれる神と信じられています。クバサーヌ御嶽は仲間集落発祥の地と伝えられています。クバサーとはクバの木の下という意味



です。旧暦正月の初拝みなど折々に集落の繁栄と安全を祈願する村拝みが行われています。

国指定史跡 当山の石畳

琉球王府時代の街道の一部で牧港川の谷間の坂道に残る長さ約200m、幅約3mの石畳道です。牧港川にかかる当山橋は、もとは木橋でしたが、昭和2年に石橋に改築されました。



すり減ってつるになった石畳と、周りの森が昔の街道の雰囲気をよく残しています。

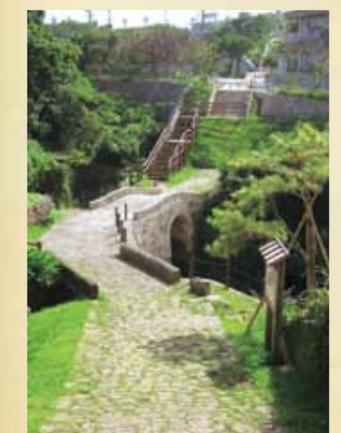
市指定史跡 経塚の碑

尚真王(1477～1526年)の頃、この地域に妖怪が出没し通行人に悪さをしたそうです。それを聞いた日秀上人という偉いお坊さまが小石にお経を書いて埋め、「金剛嶺」と彫った



石碑を建てたところ、妖怪は現れなくなるといわれています。この石碑は市の指定史跡になっています。

国指定史跡 安波茶橋



小湾川に架けられた2つのアーチ橋で尚寧王が1597年に首里から浦添グスクまでの道を整備したときに造られたと考えられます。橋の周辺には当時の石畳道が今も残っています。

問い合わせ 文化課 文化財係 ☎876-1234(内線6216・6217)